

コロナ禍の世界

横浜市駐在員リポート

⑤

毎朝体温を測り、体調を確認し、マスクをして家を出る。勤務先で入館待ちの列に6尺（1・8メートル）の間隔を並ぶ。16人乗りのエレベーターは一度に6人までに制限された。事務室入り口で手指を消毒し、やはり6

それぞれ5分に短縮した。残るは9月の新学期以降に再開見込みの学校と、6尺の間隔という原則を守るために最も厳しい対応を迫られるエンターテインメントだ。オペラやミュージカルはニューヨークにとっ常には世界の耳目を引く大切な都市の構成要素。メトロポリタン・オペラは大きくみそかに再開する見込みを発表し、ブロードウェイ・ミュージカルは来年初めの再開を目指している。州知事は、感染者の減少を人々の自制と用心の結果とたたえる。ニューヨークは6尺の間隔とマスクの着用を守りながら、全てが新しい日常に生まれ変わるのを待っている。

（横浜市国際局グローバルネットワーク担当理事／米州事務所長・関山 誠）
■随時掲載

6フィートとマスク 日常に

6尺の間を置いた机に着き、マスクをしたまま仕事を始める。再開したオフィスワークの新しい日常だ。ニューヨーク州の経済・社会活動再開の目標は、密な状況をつくらずに生産性を向上させること。6尺の間隔とマスクの着用は日常の行動原則となった。街中にも新しい日常が広がる。理美容室は入店前に

ニューヨーク



ロックフェラーセンターのアトラス像もマスクを着用している
— 6月25日、ニューヨーク5番街